

PRESS RELEASE

報道関係各位

2025 年 11 月 26 日

株式会社 FIXER

**FIXER、Lenovo 製 ThinkStation PGX と生成 AI サービス
『GaiXer』を組み合わせた AI エッジワークステーションの提供
を発表**

株式会社 FIXER（本社：東京都港区、代表取締役社長：松岡 清一、以下 FIXER）は、レノボ・ジャパン合同会社が提供する最新 AI ワークステーション「ThinkStation PGX」と、FIXER が開発・提供する生成 AI サービス「GaiXer（ガイザー）」を組み合わせたエンタープライズ向け AI エッジワークステーションの提供を 2026 年 1 月（予定）より開始することをお知らせします。



AI エッジワークステーションは、ハードウェアとソフトウェア、サポートを一体化したオンプレミス型のサービスであり、クラウドの利用が制限される自治体・医療機関・企業の IT 部門などのお客様に向け、安全かつ即時に生成 AI を活用できる統合ソリューションを提供するものです。本ソリューションにより、クラウドに頼らず LAN 環境で生成 AI の導入・

運用が可能となり、データセキュリティと運用効率の両立を実現します。

■ソリューション概要と構成要素

AI エッジワークステーションは、生成 AI 活用に必要な要素をオールインワンで提供します。

高性能ハードウェア:

レノボ・ジャパン社製「ThinkStation PGX」ワークステーションを採用。手のひらに乗るコンパクトサイズながら、最新の NVIDIA Grace Blackwell スーパーチップを搭載し、最大 1000 TOPS(※1)という圧倒的な演算能力を実現しています。この性能により、高負荷な AI モデルの推論（生成 AI による回答生成）や必要に応じた軽度の学習（ファインチューニング等）も滑らかに実行できます。また 128GB 統合メモリを標準搭載しており、単一筐体で最大 2000 億パラメータ規模（※パラメータ数=AI モデルの規模を示す値。数が大きいほど高度な知識を扱える）の大規模言語モデルもスムーズに取り扱い可能です。

※1：TOPS は 1 秒間に 1 兆回の演算を行える処理性能の単位で、1000 TOPS は毎秒 1000 兆回の計算が可能な性能

エンタープライズ向け生成 AI サービス「GaiXer」:

FIXER が提供するエンタープライズ向け生成 AI サービス GaiXer をインストール済み。GaiXer は ChatGPT に代表される高度な大規模言語モデル（LLM）技術を企業・行政で安全に活用するためのソフトウェア基盤であり、ユーザーは GaiXer 上で用途に応じて複数の AI モデルを選択・切替でき、質問に対する回答精度や文体を比較検討しながら最適なモデルを利用できます。また、業種別のテンプレートによるプロンプト（AI への指示文）作成支援機能や、社内文書・ウェブサイト・PDF などを読み込ませて AI に学習させる RAG 機能(※2)にも対応しています。これにより社内マニュアルや条例・論文等に基づいた信頼性の高い回答生成が可能です。さらにアクセス制御や操作ログ管理など企業利用に必要なセキュリティ機能も備えており、社内利用に安心なプラットフォームとなっています。

※2：RAG：Retrieval Augmented Generation。AI がユーザーの質問に対し関連する社内データを検索・参照して回答を生成する技術のこと

初期設定済みソフトウェア環境:

ハードには NVIDIA DGX OS や最新の NVIDIA AI 開発スタック、ならびに GaiXer プラットフォーム環境があらかじめインストール済みです。専門エンジニアが動作検証を行った推奨構成となっており、ユーザーは筐体を受け取って電源と社内ネットワークに接続するだけで、すぐに社内から GaiXer のウェブ UI へアクセスして生成 AI を利用開始できます。

基本サポートとハード保証:

導入後の運用も安心していただけるよう、FIXER による基本サポートが提供されます。

GaiXer の操作方法やトラブル時の問い合わせに対応するテクニカルサポート（平日 9-18 時のメール対応 ※電話サポートはオプション）や、ソフトウェアアップデートの案内提供が含まれます。またハードウェア故障時には無償交換保証により速やかに代替機を提供し、ダウンタイムを最小化します。これら基本サポートは契約期間中標準で付属しており、追加費用なしでご利用いただけます。

オプションサービス:

利用者のニーズに応じ、さらなる支援サービスも用意しています。たとえば導入時の詳細な初期セットアップ支援（設置作業や管理者トレーニング）、電話による技術相談窓口、社内データとの連携設定や効果的な RAG 活用支援、さらにセキュリティ要件に応じたネットワーク構成支援などを有償オプションとして提供可能です。必要に応じてこれらオプションを組み合わせることで、よりスムーズな立ち上げや運用高度化を実現します。

以上により、本ソリューションは「高性能ハード」+「生成 AI ソフト」+「設定済み環境」+「サポート & 保証」がワンストップで提供される構成となっています。これまで曖昧だった「AI エッジワークステーション」の定義を具体化し、ユーザーは個別に機器やサービスを調達することなく、必要なものが全て揃ったパッケージで生成 AI を社内導入できます。

■導入と運用の詳細（提供時期・価格・アップデート方法）

本ソリューションは 2026 年 1 月より提供開始予定です。

提供形態や価格については現在検討中であり、一例として、提供形態は初期導入費用 10 万円と月額 10 万円（税別）×24 か月のリース契約などのモデルを想定しております。初期導入費用を抑えつつ計画的なコストで最新 AI 環境を利用できるため、LLM の API 課金が増大する心配はありません。契約期間中は前述の基本サポートとハード保証が含まれ、安心してご利用いただけます。

導入にあたっては、ユーザー企業・団体へ ThinkStation PGX 本体をお届けし、すぐ使える状態で設置します（オンサイト設置作業はオプションにて提供）。設置後は社内ネットワーク経由で管理画面にアクセスし、ユーザー自身で AI の質問応答や社内データのアップロード学習等を開始できます。操作にあたっては専門的なプログラミング知識は不要で、専用のチャット画面から直感的に AI に指示が可能です。

オンプレミス環境で完結する設計のため、モデルへの質問内容や社内データが外部クラウドに送信されることはありません。秘密情報や個人情報を扱うケースでも、社内サーバー内で AI 処理が閉じて行われることで情報漏洩リスクを低減できます。インターネット接続が無い閉域ネットワーク内でも基本機能をお使いいただけます。なお、GaiXer プラットフォーム自体のソフトウェア更新や新たな AI モデルの追加提供に際しては、一時的にインター

ネット経由でアップデートを適用するケースがあります。その場合も、アップデート実行は管理者の許可の下で行われ、モデルやプラットフォームの最新版を取り込みつつ運用可能です。アップデートの頻度や内容については事前に通知されるため、計画的なメンテナンスが行えます。最新 AI 技術を取り入れつつも日々の生成 AI 活用は社内完結できる柔軟な運用モデルを提供します。

■活用シーンと具体例

本ソリューションは、自治体や医療機関、民間企業など様々な領域での活用を想定しています。それぞれの現場で具体的にどのように役立つのか、想定シーンと実績例を交えてご紹介します。

医療機関での活用例: 文書作成支援とナレッジ共有の効率化

医療現場では、診療記録の要約や報告書の作成に多大な時間が割かれています。本ソリューションを導入することで、例えば電子カルテから患者の退院時サマリー（要約）をわずか数秒で自動作成します。実際、藤田医科大学病院では GaiXer Medical Agent を用いた退院時サマリー作成支援システムの運用を行い、3 か月間で約 1000 時間の業務時間削減を実現しました。削減された時間を患者ケアに充てることができ、医師の業務効率と医療サービス品質の向上につながっています。このように医療文書作成支援や、ガイドライン・論文の要点抽出、院内 FAQ への回答自動化など、医療従事者の負担軽減と知見共有に生成 AI が役立ちます。

自治体での活用例: 職員支援と住民サービス向上

自治体業務では、多種多様な条例や行政文書を参照しながらの問い合わせ対応や書類作成が日常的に発生します。本ソリューションでは、自治体が保有する規則集・業務マニュアル・Q&A 集などを GaiXer に学習させ、職員が専門知識を要する質問を AI に投げかけることで、瞬時に関連文書を踏まえた正確な回答案を得ることができます。例えば、膨大な市の条例や規程類を AI が参照可能な形式に変換・学習させることで、職員からの問い合わせに対し高精度な回答の生成を実現しています。また RAG 機能の応用により「この質問にはこの条文の内容が関係します」という根拠を示した回答案が得られるため、回答の信頼性も担保されます。これらのユースケースにより職員の調査負担が減り、市民への回答スピードや行政文書作成の効率が向上することが期待されています。さらに一部自治体では、住民向けのチャットボットに本ソリューションを応用し、手続案内やよくある質問への自動応答など住民サービス向上にも取り組み始めています（自治体公式 LINE での AI 相談サービス実証など）。

企業での活用例: 業務効率化とナレッジ活用の促進

企業においても、汎用的な生成 AI を自社業務に活かすユースケースが広がっています。本

ソリューションは、自社サーバー内で社内データと AI を連携できるため、機密情報を含む社内ナレッジの有効活用が可能です。例えば、社内ドキュメントや製品マニュアルを GaiXer に学習させておけば、新入社員からの問い合わせや専門部署への質問に AI が 24 時間対応し、必要な情報を即座に提供できます。さらには、議事録や報告書のドラフト自動生成、ソースコードのレビュー支援など、多様な業務プロセスの効率化に貢献します。実際の導入例として、金融機関において、営業店で作成していたお客様との面談記録を GaiXer で下書き作成する業務を実施しています。その結果、1 件あたり約 20 分要していた記録作成が約 5 分程度で完了する見込みとなり、行員の負担軽減と顧客対応品質の向上が期待されています。このように企業内でも、時間のかかる定型業務を AI がアシストすることで生産性が飛躍的に向上し、人材をよりクリエイティブな業務へ振り向けることができます。

■他社クラウド AI や単体 GPU マシンとの違い

昨今、多くの生成 AI サービスが提供されていますが、本ソリューションは「オンプレミス一体型」であることを最大の特徴とし、クラウドサービスや単体の GPU 搭載 PC とは一線を画す価値を提供します。以下に主要な違いと優位性をまとめます。

完全オンプレミスによるデータセキュリティ:

クラウド型の生成 AI サービスでは入力データがインターネットを經由して外部サーバーに送信されるため、機密情報の扱いに慎重な企業・団体では利用が難しい場合があります。本ソリューションは AI 処理をすべて社内サーバー内で完結させるため、機密データや個人情報などが外部に漏洩するリスクを大幅に低減できます。例えば医療記録や自治体の住民情報でも、安全な社内環境下で AI 分析・生成が可能です。クラウドに比べセキュリティポリシー遵守とプライバシー保護の面で大きな安心感を提供します。

RAG による自社データ活用:

大規模言語モデルの API を使うだけでは、自社の内部資料を反映した回答を得ることは困難でした。本ソリューションは RAG 機能を標準サポートし、社内のファイルサーバーやデータベースから必要情報を検索・参照したうえで応答を生成できます。これにより社内限定の Q&A やドキュメント要約といった、各組織固有の知識に基づく AI 活用が容易になります。他社の汎用クラウド AI サービスでは実現しづらい、組織内ナレッジを最大限に引き出す AI として差別化されています。

即時利用可能なセットアップ済み環境:

一般的に GPU 搭載 PC やサーバーを購入して生成 AI 環境を整備するには、適切な GPU ド

ライバや AI フレームワーク、モデルのインストール・チューニングなど高度な作業が必要でした。本ソリューションでは専門技術者による初期構築が済んだ状態で提供されるため、ユーザーは届いた日から本格的に AI を試すことができます。環境構築にかかる日数・労力を削減し、「思い立ったらすぐ AI 活用」を可能にするスピード感は、他にない大きなメリットです。

エンタープライズサポートと保証:

クラウドサービスの場合、サービス提供元のサポートはあるものの汎用的であり、自社システムとの連携部分は自社対応が求められることもあります。また市販 PC では故障時のメーカー保証はあっても、代替機の即時手配や AI ソフトに関する問い合わせ対応までは期待できません。それに対し本ソリューションでは、FIXER がハード・ソフト一体のサポートを提供することで、システム全体の安定稼働を支援します。ハード故障時の迅速な交換対応や、生成 AI の挙動に関する問い合わせ対応など、きめ細かなサポート体制で運用をバックアップする点が優位性です。

予測可能なコスト:

クラウドの生成 AI サービスは利用量に応じた従量課金が主流で、大規模に利用するとコストが予想以上に膨らむリスクがあります。一方、本ソリューションは月額固定料金（リース料にサポート込）で提供されるため、費用が明確で予算計画を立てやすい利点があります。自社サーバーを運用することで長期的にはコストメリットが出るケースも多く、費用対効果の面でも魅力的です。

以上のように、FIXER の「ThinkStation PGX + GaiXer」AI エッジワークステーションは、他社サービスにはないセキュリティと即応性、そして自社データを最大限に活かす力を備えた独自の価値を提供します。生成 AI 活用における課題と不安要素を払拭し、自治体・医療・企業それぞれの現場ですぐに役立つ AI としてご活用いただけることを期待しています。

■レノボ・ジャパン合同会社コメント

多くのお客様が、安全かつ迅速に生成 AI を活用できる統合ソリューションの登場を長らく待ち望んでいました。このたび、レノボの手のひらサイズの AI スーパーコンピュータ「ThinkStation PGX」に、実績豊富な GaiXer を搭載して提供できることを心より嬉しく思います。現場で培われた信頼性の高い生成 AI ソリューションが、手元で即座に利用可能に

なることで、お客様の業務に革新的な価値をもたらすと確信しています。本連携は、国内における AI 活用を飛躍的に促進する重要な第一歩であり、その取り組みにレノボとして貢献できることに大きな意義を感じています。

レノボ・ジャパン合同会社 代表取締役社長
檜山 太郎

■今後の展開

FIXER は、本ソリューションを通じて各業界の DX（デジタルトランスフォーメーション）を強力に支援してまいります。モデルの更なる高度化や新機能のアップデートについても随時提供し、ユーザーのフィードバックを反映しながらサービスを拡充予定です。

■ 株式会社 FIXER について

FIXER はクラウド黎明期に創業したクラウドネイティブカンパニーです。

当社はクラウド基盤である「Microsoft Azure」が本格的にサービスを開始する前の 2009 年に創業。2010 年の正式サービス開始と同時にエンタープライズシステムのクラウド化をプライムとして引き受け、日本におけるクラウドの黎明期から Azure 普及の一翼を担ってきました。政府がクラウドを行政システムの第 1 選択とする「クラウド・バイ・デフォルト原則」を示した 2018 年以降、エンタープライズシステムのクラウド環境へのリフト（移行）&シフト（進化）のニーズは、ますます高まっています。こうした中、FIXER がこれまで培ってきたクラウドネイティブなテクノロジーで日本の DX を加速させることが、我々のミッションであると考えています。

なお、本件にかかる当社業績への影響は軽微です。

会社名：株式会社 FIXER

代表者：代表取締役社長 松岡 清一

所在地：東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館 最上階

Web サイト：<https://fixer.co.jp/>

■ プレスリリースに関するお問い合わせ（報道機関向け）

株式会社 FIXER 経営企画担当

E-mail：ir@fixer.co.jp

TEL : 03-3455-7755

FAX : 03-3455-7500

※本内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

※ChatGPT は、OpenAI 社の登録商標です。